

## 編集後記

「必要は発明の母である」との言葉を引き合いに出すまでもなく、自動車技術は社会・環境的要請や様々な企業間競争の結果として進歩してきました。加えて近年は、お客様の多様化した嗜好に合った商品を競争力のある形で開発する必要性が増しています。魅力ある商品としては、これらのニーズに合わせるとともに、お客様の共感を得られる形で、作り手のメッセージを色濃く反映させる必要があると感じています。

マツダでは1999年にコーポレートビジョンを策定し、ニーズの源をお客様に置くとともに‘Zoom-Zoom’な商品を提供するブランド戦略を鮮明に打ち出しました。そして、アテンザ、デミオ、RX-8に続く次世代商品群の第4弾として、次世代スポーツコンパクト「アクセラ」を「新しい価値の創造」のメッセージを込めて世に送り出しました。

今回のマツダ技報第22号では、MDI (MAZDA Digital Innovation) における実験革新のキー技術として、次世代商品群の開発に威力を発揮している「Virtual Testing」と、その技術を駆使しマツダのDNAを体現した「アクセラ」を特集として取り上げました。特集では、マツダにとって一番の財産とも言えるエキスパート技術者自らが、そのノウハウを織り込むことで実現した、実戦的かつ高精度なシミュレーション及びラボ化技術に加え、「アクセラ」に織り込まれた様々な先進技術を紹介しています。

この技報を通して読者の皆様に、マツダの技術への積極的な取り組みと、技術者の「飽くなき挑戦」にかける魂の片鱗を感じていただくことができれば、編集に携わった者としてこの上ない喜びになります。

(笠原 哲)

## 編集委員会

委員長	喜田 達也	技術企画部
委員	中尾 浩二	企画設計部
	笠原 哲	操安性能開発部
	渡邊 重昭	ボデー開発部
	中村 信弥	装備開発部
	三村 光生	第1エンジン開発部
	山田 洋史	技術研究所
	井田 吉人	パワートレイン技術部
幹事	佐々木圭太	技術企画部
	大森 正志	技術企画部
事務局	世良 和美	技術研究所
	伊東加奈子	技術企画部

## マツダ技報 第22号

発行 平成16年4月19日  
発行人 金井 誠太  
編集人 喜田 達也  
発行所 マツダ株式会社  
商品企画ビジネス戦略本部技術企画部  
〒730-8670  
広島県安芸郡府中町新地3番1号  
電話 082(287)4106  
印刷所 マツダエース株式会社  
広島県安芸郡府中町新地3番1号

## Mazda Technical Review No.22

April 2004  
Publisher Seita Kanai  
Editor Tatsuya Kita  
Distributor Technology Planning Dept.  
Product Planning & Business  
Strategy Div.  
Mazda Motor Corp.  
3-1 Shinchi, Fuchu-cho Aki-gun,  
Hiroshima 730-8670, Japan